

## ■著者紹介

### 角倉 一郎 (すみくら いちろう)

東京大学法学部卒業、政策研究大学院大学博士課程修了、博士（政治・政策研究）。1991年環境庁（現環境省）入庁、英國 Imperial College 客員研究員、滋賀県庁、環境省地球環境局、内閣官房などを経て、現在環境省勤務。

#### 〔主要著書〕

“A Brief History of Japanese Environmental Administration: A Qualified Success Story?”*Journal of Environmental Law* 10 (1998): 241–54.

“Environmental Voluntary Agreements and the Rule of Law in England and Japan: A Common Law Perspective and a Civil Law Perspective.” *elni Newsletter* 1 (2000) : 57–70.

「温暖化対策としての自主協定」大塚直編著『地球温暖化をめぐる法政策』昭和堂、2004.

「カーボン・オフセット市場の活性化による地球温暖化対策の推進：キャップなき排出量取引の展望と課題」『季刊環境研究』146 (2007) : 41–59.

「カーボン・オフセットはまやかしか？：わが国の具体的事例の検証」『環境情報科学』37巻1号 (2008) : 39–44.